

平成 25 年度中間事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

I 世界に開かれた県民意識の向上の推進

【目標】

県民が、世界の人々と対等で良好な関係が築けるよう意識の向上を推進する。特に、国際社会に貢献し世界をリードする幅広い視野や国際感覚を持つ次世代を育成するため、様々な事業を展開するとともに、行政や民間団体等と連携・協力していく。

【目標指数】

項目	H25(年間)	H25 前期実績(達成率)
当協会が企画する 国際理解講座数	39	14 (36%)

【事業実績】

1 多様な交流や国際理解の推進

(1)国際理解出張講座

当協会役職員等が講師となり、下記のとおり様々なテーマの講座を実施した。

- 講座名と実施回数 計 14 回(前年同期比 61%)
 - A 留学生とトモダチ(1回)
 - B 国際人って?～カナダの多文化社会から～(4回)
 - C これってアリ?～常識と非常識～(3回)
 - D スポーツ DE 交流(1回)
 - E 世界がもし 100 人の村だったら(3回)
 - F マグロ獲り(0回)
 - G 写真で学ぼう、世界の食卓(2回)

- 内訳

No	月日	場所	対象	参加人数	講座名	講師名 (敬称略)
1	5月16日	福島県立須賀川桐陽 高校	高校教員	30	G	理事 布田節子
2	6月11日	福島大学	大学生	20	C	主任主査 幕田順子

3	6月14日	福島市立大森小学校	小学生	32	E	理事 布田節子
4	6月21日	中島村立中島中学校	中学生	180	B	国際交流員 ケビン シャ
5	6月22日	国立福島工業高等専門 学校	高等専門 学校生	30	B	国際交流員 ケビン シャ
6	6月28日	福島市中央学習センタ ー	社会人	90	B	国際交流員 ケビン シャ
7	7月4日	本宮市立白岩小学校	小学生	35	E	理事 布田節子
8	7月12日	本宮市立糠沢小学校	小学生	33	D	国際交流員 ケビン シャ他
9	7月16日	本宮市立本宮第一中 学校	中学生	123	B	国際交流員 ケビン シャ
10	7月25日	福島市信夫学習センタ ー	社会人	30	E	理事 布田節子
11	8月28日	福島県立長沼高校	高校生	63	C	理事 布田節子
12	9月18日	郡山市立二瀬地域公 民館	社会人	15	G	主任主査 幕田順子
13	9月24日	本宮市立岩根小学校	小学生	48	A	理事 布田節子
14	9月25日	本宮市立和田小学校	小学生	43	C	グローバル教育 研究会ふくしま 日下部喜美子

(のべ参加者数 772 名)

(2)ワールドカフェ in Fukushima

地域住民と外国出身県民が「ワールドカフェ運営委員」となり、協働で国際交流イベントを企画実施した。

回	月日	場所	内容	参加人数 (うち外国出身 者数)
1	5月11日(土) 10:00~14:00	福島市ふれあい歴史館 他	国際交流イベントの体 験(土偶づくり、勾玉づ くり他)	27(7)
2	5月18日(土) 13:30~16:00	当協会研修室	第1回打ち合わせ	8(1)
3	6月8日(土) 13:30~16:00	同上	第2回打ち合わせ	8(2)

4	6月15日(土) 13:30~16:00	同上	第3回打ち合わせ	9(3)
5	6月29日(土) 10:00~16:00	同上	第4回打ち合わせ	10(3)
6	7月6日(土) 9:30~15:00	飯坂温泉街、パルセイ いざか	国際交流イベントの実 施(街中散策、うちわづ くり他)	26(6)

(のべ参加人数 88名 うち外国出身者 22名)

(3)留学生の国際交流活動の推進

当協会主催事業等様々な機会を捉えて、留学生と地域住民との交流の場を提供した。

回	事業名	内容	参加人数 (うち外国出身 者数)
1	国際理解出張講座「留学生とトモダチ」	外国人ゲスト	3(3)

(のべ参加人数 3名 うち外国出身者 3名)

2 グローバル社会で活躍する次世代の人材育成

(1)ふくしまユースグローバルカレッジ 2013

概ね 39歳以下の県内大学生及び社会人を対象に連続5回の講座のうち、3回を実施した。

回	月日 会場	内容	講師(敬称略)	参加人数 (うち外国出身 者数)
1	6月22日(土)10:00 ~23日(日)13:00 (宿泊) JICA 二本松	世界の多様 性	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の 会) 坂中澄子 (郡山市立行健小学校) 日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふく しま) 板橋美樹 (グロカレ1期生)	30(2)
2	7月20日(土) 9:30~16:00 当協会	世界のグロ ーバル化	布田節子 (ふくしま青年海外協力隊の 会) 坂中澄子 (郡山市立行健小学校)	7(1)

			日下部喜美子 (グローバル教育研究会ふくしま)	
3	9月7日(土) 9:30~16:00 当協会	メディアリ テラシーと 国際協力	湯本浩之 (宇都宮大学留学生・国際交流 センター准教授)	5(1)

(のべ参加人数 42名 うち外国出身者 4名)

(2) 次世代の海外研修への助成

39歳以下の県内大学生及び社会人5名の海外研修事業に対し、総額39万円の助成を決定した。

Ⅱ 外国出身県民とともに創る活力ある地域づくりの推進

【目標】

外国出身県民が、地域住民として等しく行政サービスが受けられ、地域づくりのパートナーとして活躍できるよう環境の整備を推進する。

【目標指数】

項目	H25(年間)	H25 前期実績(達成率)
外国出身のふくしま多文化共生サポーター活動人数	52	17 (33%)

【事業実績】

1 安全・安心な地域づくりの推進

(1) 多言語による行政サービスの提供

【多言語による相談窓口】

多言語コーディネーター1名と通訳員3名を配置し、中国語と英語は随時、韓国語、タガログ語、ポルトガル語については、毎週水曜日 13:00~17:00(第4・第5水曜日は予約制)に、行政サービス受給や在留資格など外国出身県民に関わる各種問い合わせに対応した。

- 相談件数：172 件（前年同期比 75%）
- 相談言語：日本語(80)、中国語(88)、英語（2）、タガログ語(2)
- トリオフォン利用件数：6 件（前年同期比 150%）
- 主な相談内容と出身国

内容 出身国	生活 全般	通訳 翻訳	家族	医療	在留 資格	教育	その他	合計
中国	31	9	10	15	14	4	14	97
日本	13	8	1			1	19	42
フィリピン	4		3		1		8	16
アメリカ	1		0		1		3	5
その他	2						10	12
合計	51	17	14	15	16	5	54	172

【相談窓口等の広報カードの作成】

- 発行月：6 月
- 仕様：名刺サイズ 4 ページ、2 色刷り 5,000 部
- 内容：ルビ付き日本語、英語、中国語併記で相談窓口等を案内
- 配布先：日本語教室、市町村国際交流協会、大学、外国出身者コミュニティ他

(2) 多言語による相談対応

【外国語による地震情報センター】

震災後、福島県国際課と協力して立ち上げた「外国語による地震情報センター」において、継続して福島県の「東日本大震災関連情報」の一部を英語と中国語に翻訳し、県HPにアップし情報提供するとともに、通常の「多言語による相談」業務内で電話やメール等での相談に対応した。

- 相談件数：21 件(前年同期比 40%)
- 相談言語：日本語(11)、中国語(10)

○ 主な相談内容と相談者の出身国

内容 出身国	補償 等経 済的 支援	避難	放射 線	在留 資格	子ど もの 教育	県内 の状 況	仕事	ボラ ンテ ィア	その 他	合計
中国	1	1		1	2				5	10
アメリカ										
カナダ										
ブラジル										
フィリピン										
韓国朝鮮		1								1
マレーシア									1	1
日本		2							7	9
合計	1	4		1	2				13	21

(3) 外国の子どものサポート

サントリー・セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン福島子ども支援 NPO 助成プロジェクト『フクシマススムファンド』を活用して、専従スタッフ1名を配置し、下記の事業を行った。

【帰国・外国籍児童生徒等関係団体連絡会議】

	月日及び会場	内容及び講師	参加人数 (うち外国出身者数)
福島会場	6月3日(月) 13:00~16:00 コラッセふくしま 401号室	講話:「帰国・外国人児童生徒等に対する文部科学省の施策について」 植村恭子係長(文部科学省初等中等教育局国際教育課日本語指導係) 報告:「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」 助川徹指導主事(福島県教育庁義務教育課) 講演:「帰国・外国籍児童生徒等を取り巻く課題と関係団体の連携の必要性」 佐藤郡衛教授(東京学芸大学国際教育センター) 参加者による意見・情報交換会	20(0)

会津会場	6月17日(月) 13:00~16:00 会津稽古堂 研修室2	報告:「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」 渡部朋史指導主事(福島県教育庁会津教育 事務所) 講演:「帰国・外国籍児童生徒等を取り巻く課題と関 係団体の連携の必要性」 佐藤郡衛教授(東京学芸大学国際教育セン ター) 参加者による意見・情報交換会	16(1)
郡山会場	6月24日(月) 13:00~16:00 郡山市労働福 祉会館第3第4 会議室	報告:「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」 本田一意指導主事(福島県教育庁県中教育 事務所) 講演:「帰国・外国籍児童生徒等を取り巻く課題と関 係団体の連携の必要性」 吉谷武志教授(東京学芸大学国際教育セン ター) 参加者による意見・情報交換会	19(2)

(のべ参加人数 55名 うち外国出身者 3名)

【帰国・外国籍児童生徒等担当教員等会議】

- 日 時: 7月12日(金) 10:00~15:00
- 会 場: 福島テルサ3階「あぶくま」
- 参加者: 14名
- 内 容: 報告:「福島県の帰国・外国籍児童生徒等の状況」
助川徹指導主事(福島県教育庁義務教育課)
講演:「外国人児童生徒の多様性が育む教育の豊かさ~指導方法の開発・授業改
善のヒント~」
近田由紀子さん(前浜松市立瑞穂小学校教諭、平成23年度文
部科学省日本語指導が必要な児童生徒の教育の充実のための
検討会委員)
分科会: 小中高校別の意見情報交換

【外国にルーツを持つ子どもの宿泊交流会】

- 日 時: 8月10日(土) 10:30~8月11日(日) 13:30
- 会 場: JICA二本松
- 参加者: 12名(子ども8名、保護者4名)
- 内 容: 子ども一人一人に学生ボランティア1名が寄り添い、勉強や交流会、ス
ポーツ等を行った。なお保護者に対しては進路ガイダンスなどを行った。

【外国にルーツを持つ子どものための支援者研修事業】

- 研修会: 3回シリーズの研修会のうち2回を実施した。

	月日及び会場	内容及び講師	参加人数 (うち外国出身者数)
1	8月31日(土)10:00～ 16:00 郡山市労働福祉会館	「外国にルーツを持つ子どもの心理と日本語学習支援の特徴」 関口明子さん((公社)国際日本語普及協会(AJALT)地域日本語教育担当理事)	51(3)
2	9月29日(日)10:00～ 16:00 郡山市労働福祉会館	「外国にルーツを持つ子どもへの日本語学習支援の具体的指導法」 樋口万喜子さん(NPO法人日本語・教科学習支援ネット理事長)	47(3)

(のべ参加者数98名、うち外国出身者6名)

- 先進地視察：上記研修会参加者同士で編成された5チームのうち1チームが自主企画による先進地視察を行った。

	月日	視察先	視察人数
1	9月30日(月)～10月1日(火)	① いわて*多文化子どもの教室むつみっこくらぶ(岩手県盛岡市) ② NPO法人みちのく国際日本語教育センター(青森県八戸市) ③ 山形こども日本語サポートネット(山形県山形市)	2

【帰国・外国籍児童生徒等の早期適応のためのサポーター事業】

No	期間(のべ時間)	場所	内容	依頼者	活動人数 (うち外国出身者数)
1	4月30日～7月16日(52時間)	本宮市立五百川小学校	フィリピン出身児童1名への日本語指導および教科通訳	本宮市教育委員会	1(1)
2	9月10日～	福島市立森合小学校	フィリピン出身生徒2名への日本語指導	福島市国際交流協会	1(0)

(のべ活動人数2名 うち外国出身者1名)

【外国の子どものサポートに関わる相談対応】

外国の子どものサポートに関して、当該子どもやその保護者、教育関係者及び日本語ボランティア等地域支援者からの様々な相談に応じた。

(4) 外国出身子どもへの支援活動団体への支援

ふくしま子どもの日本語ネットワーク主催の「外国にルーツを持つ子どもたちのための土曜広場」の活動において、会場使用料の減免等のサポートを行った。

(5) 防災訓練等への参加促進

9月第2土曜日の「世界救急法デー」にちなんで、日本赤十字社福島県支部と共催で、外国出身県民も参加しやすいよう通訳付きの救急法講習会を実施した。

- 日 時：9月14日（土）13：30～16：00
- 会 場：会津アピオスペース大会議室
- 参加者：22名（うち外国出身者16名）
- 内 容：心肺蘇生法、AEDの使い方、温タオルの作り方など

(6) 「福島生活（中国語版）」「Fukushima Life(英語版)」の提供

- 発行月：毎月1回
- 内 容：イベントレポート、生活情報、外国出身者からの投稿記事などの最新情報をWEBで発信した。

2 活力ある地域づくりに参加できる環境整備の推進

(1) ふくしま多文化共生サポーターの活動促進

サポーターの登録を随時行うとともに、外部団体からの依頼に応じて適切な登録者を紹介し、また当協会主催事業においても積極的に登録者を活用するなど、その活動の促進を図った。

【登録者数】

- 人数：110名（前年同期比 145%）

内訳：日本（60）、中国（23）、韓国朝鮮（11）、フィリピン（6）、タイ（2）、インドネシア・ブラジル・トンガ・アルゼンチン・エジプト・モンゴル・アメリカ・ルワンダ（各1）

- 内訳（複数登録あり）

登録内容 居住地 (人数)	通訳・翻訳					国際理解	合計
	英語	中国語	韓国語	タガログ語	ポルトガル語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ロシア語、フランス語、トンガ語他		
県北(65)	33	20	10	5	12	35	115
県中(31)	15	10	7		3	20	55
県南(4)	2	2		1		3	8

会津(6)	3	3	1		1	2	10
いわき(3)	2	1			1	1	5
県外(1)	1						1
合計	56	36	18	6	17	61	194

【コーディネーター総数】

件数：16件（前年同期比 70%）

人数：36名（前年同期比 86%）

内訳

①外国出身児童生徒に対する支援（帰国・外国籍児童生徒等の早期適応のためのサポーター事業）

○ 件数：2件（前年同期比 40%）

○ 人数：2名（前年同期比 40%）

②公的団体等からの依頼

○ 件数：12件（前年同期比 75%）

○ 人数：21名（前年同期比 64%）

○ 内訳

No	実施月日	場所	内容	依頼者	活動人数 (うち外国出身者)
1	5月7日	いわき中央警察署	弁護接見の通訳（中国語）	福島県弁護士会	1(1)
2	5月10日	母畑温泉八幡屋	ブライトリングジェットチーム歓迎レセプションでの通訳（英語）	福島空港利用促進協議会	5(0)
3	5月20日	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館	スペイン人ダンサーワークショップの通訳（スペイン語）	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館	1(0)
4	5月30日	日本司法支援センター福島地方事務所	法律相談における通訳（中国語）	日本司法支援センター福島地方事務所	1(0)
5	6月1日～2日	福島駅前他	東北六魂祭りのインフォメーションセンターでの通訳（英語）	東北六魂祭実行委員会	4(0)
6	7月2日	福島県女性のための相談支援センター	入所者に対する説明（タガログ語）	福島県女性のための相談支援センター	1(1)
7	7月3日	福島空港	韓国観光客に対する通訳（韓国語）	福島県観光交流課	1(1)

8	7月6日	朱鷺メッセ (新潟市)	日本語スピーチコンテストでのゲストスピーカー	スピーチコンテスト事務局	2(2)
9	7月11日	—	書簡の翻訳(フランス語)	福島県国際課	1(0)
10	7月26日	—	書簡の翻訳(フランス語)	福島県貿易促進協議会	1(0)
11	9月8日	福島市音楽堂	世界の民族音楽祭でのパネラー(中国)	福島市音楽文化総合アドバイザー	1(1)
12	9月25日～ 26日	福島市内	スペイン人画家ワークショップの通訳(スペイン語)	NPO法人岩手未来機構	2(0)

(のべ活動人数 21名 うち外国出身者 6名)

③当協会主催事業での活用

- 件数：2件(前年同期比 100%)
- 人数：13名(前年同期比 163%)
- 内訳

No	実施月日	場所	内容	活動人数 (うち外国出身者)
1	8月2日	コラッセふくしま他	「外国出身住民にとっての東日本大震災・原発事故を考える福島フォーラム」における街中ツアー同行者及びゲストスピーカー	12(8)
2	9月22日	福島市アクティブシニアセンターA0Z	「結・ゆい・フェスタ 2013」での当協会ブースの運営	1(1)

(のべ活動人数 13名 うち外国出身者 9名)

(2)外国出身県民コミュニティのサポート

下記の同国出身コミュニティ等について、関係団体とのネットワークの橋渡しや、様々な情報提供などを行い、その活動をサポートした。

- つばさ～日中ハーフ支援会(中国出身母親とその子等)
母語保持に関わる研修会の企画相談
- NPO法人ルワンダの教育を考える会
各種事業の実施に関わる相談
- 外国出身県民キーパーソンアカデミー
「結・ゆい・フェスティバル」出展に関わる相談
- エジプト日本友好会
「エジプトウィーク in ふくしま」開催に関わる企画相談

Ⅲ 多様な関係団体と連携した国際交流活動の推進

【目標】

県、市町村や市町村国際交流協会、日本語教室、国際交流・協力団体など多様な国際交流活動の関係団体との調整・連携を一層強化し、多様な国際交流活動が県内各地で展開できるよう環境を整備していく。

【目標指数】

項目	平成 25 年度 年間目標	平成 25 年度 前期実績(達成率)
外国出身県民にかかわる ものも含めた相談件数	850	334 (39%)
HP トップページ※ アクセス数	107,000	43,618(41%)

※HP 訪問者数（同じ人が1日複数回訪問しても1人とカウント） 158,340人（前年同期比 133%）

【事業実績】

1 人材育成やネットワーク化の推進

(1) 日本語教室の活動支援

日本語教室メーリングリストを活用し研修会等の情報提供や、外国出身者に対する地域の日本語教室の案内及び日本語ボランティアからの教材の相談等に応じた。

(2) 市町村国際交流協会等との連携強化

【結・ゆい・フェスタへの出展】

- 主 催：福島市国際交流協会
- 日 時：9月22日（日）10:30～15:30
- 場 所：福島市アクティブシニアセンターA0Z
- 参加者：一般 800名
- 内 容：当協会事業を紹介するとともに、外国出身県民3名の協力を得てヘッドバンドづくりなどを通じた県民との交流を行った。

【市町村国際交流協会への訪問】

- 期 間：4月～5月
- 訪問先：福島市、いわき市、会津若松市、郡山市、白河市、喜多方市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、棚倉町、三春町の計12市町国際交流協会
本宮市、須賀川市の計2市国際交流担当部署
- 内 容：地域の状況把握、当協会事業への理解と協力依頼

(3) 東北・北海道地域国際化協会連絡協議会定例総会

- 日 時：8月1日（木）13：30～17：00
- 会 場：福島ビューホテル「信夫」
- 参加者：22名
- 内 容：平成24年度にかかる事業報告・収支決算及び25年度にかかる事業計画・収支予算についての協議や、各協会の重点事業等についての意見交換を行った。

2 相談・情報提供

(1) 国際交流に関わる相談対応

- 相談件数：141件(前年同期比102%)
- 内訳

相談内容	人の紹介	国際理解教育	イベント情報	通訳翻訳	団体運営	日本語関係	留学語学	国際化の現状	協会業務	その他	合計
行政関係	10		2	11		1			7	1	32
市町村国際交流協会	1	1	1	1					9	2	15
国際交流・協力団体	2	2	3			5	1		1	3	17
教育関係者	7	5				5			2		19
一般	18	1	1	2		7	3		5	4	41
報道関係者	2		1						2	1	6
各種団体等	2		2	2					3		9
県外	2										2
合計	44	9	10	16		18	4		29	11	141

(2) 広報紙「G y r o (ジャイロ)」の発行

- 発行月：9月
- 仕様：A4版8ページ、表紙・裏表紙カラー刷り中面2色、3,000部
- 内容：世界で活躍した専門学校生や地域で活動する団体の紹介、コロンビアの紹介、当協会の主催事業案内と報告など
- 配布先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体他

(3) デジタルによる情報提供

IT 専門嘱託員を1名配置し、中国語版・英語版ホームページにおける外国出身県民に対する防災情報ページの更新や県内日本語教室情報など、国際交流等の各種事業について迅速で効果的な情報提供を行った。

【ホームページの更新】

ホームページの内容更新やリンク切れの確認など逐次見直しを行うとともに、ホームページでの最新情報の更新を即時に行った。

- トップページアクセス件数：43,618件（前年同期比 122%）
- ホームページ訪問者数：158,340人（前年同期比 133%）

【メールマガジン】

国際交流に関する身近なイベント情報などをメールマガジンで発信した。

- 登録者数：192名（前年同期比 113%）
- 発信回数：12回（前年同期比 109%）

3 調査研究・提言

(1) 日本語教室活動実態調査

日本語を学びたい外国出身県民や、日本語をボランティアで教えたい県民に対し、日本語教室の最新の活動状況を提供するため、県内の日本語教室の活動状況について実態調査を行った。

なお、その内容は当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期：7月
- 登録団体：32団体（休止中2団体を含む）

(2) 民間国際交流・協力団体活動実態調査

国際交流・協力活動に参加したい県民に対し、国際交流・協力団体の最新の活動状況を提供するため、各団体の活動状況について実態調査を行った。

なお、その内容は当協会ホームページに掲載した。

- 調査時期：7月
- 登録団体：市町村国際交流協会 22 団体、国際交流・協力団体 40 団体

4 協働事業の推進

(1) 国際交流・協力活動への助成

福島県内に拠点を有し活動する非営利団 5 団体の 5 事業に対し、総額 39 万円の助成を決定した。

IV 世界に向けた福島の発信

【目標】

福島県の復興の様子をありのままに発信する。

【事業実績】

1 情報の発信

(1) 震災復興版ジャイロ『がんばろう福島』の発行

福島県に暮らす外国出身者や県外・海外の外国人に向けて、不必要な不安を取り除き、また、国内、海外からの福島に対する風評を抑えるため、国内外に向けて福島の復興が進む現状を多言語で発信した。

【ホームページ上での掲載】

- 発行回数：月 3～4 回ブログ発信
- 言語：日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、タガログ語、ポルトガル語の 7 か国語
- 内容：福島の風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント他

【印刷物】

- 発行月：6 月、9 月
- 発行部数：6 月 日本語 1,000 部

9月 日本語 2,000部 英語 1,000部 中国語 1,000部

- 仕様：A4版 2ページ 両面カラー刷り
- 内容：福島風景写真、福島に暮らす外国出身者からのコメント他
- 配布先：賛助会員、県内公共施設、市町村国際交流協会、民間団体他

(2) 外国出身住民にとっての東日本大震災・原発事故を考える福島フォーラム

【原発事故の影響を見て感じる街中ツアー（オプション）】

- 日時：8月2日（金）10:00～11:30
- 会場：福島駅西口周辺
- 参加者：27名
- 内容：スーパーマーケットの野菜売り場、除染済み公園、小学校等の視察

【フォーラム】

- 日時：8月2日（金）13:00～16:00
- 会場：コラッセふくしま「多目的ホール」
- 参加者：77名
- 内容：災害の現況報告、外国出身県民に対するアンケート結果報告、外国出身住民とのグループセッション

【原発事故からの復興を見て感じるバスツアー（オプション）】

- 日時：8月3日（土）8:00～16:00
- 会場：川内村内、福島ビューホテル
- 参加者：26名
- 内容：川内村からの現況報告及び村内の視察、飯館村長からの講話

【『外国出身住民にとっての東日本大震災・原発事故 FIA活動の記録～FIAの取り組みと外国出身住民100人の証言』の発行】

- 発行月：7月
- 発行部数：600部
- 仕様：A4版 88ページ 全面カラー刷り
- 内容：災害の状況、当協会の主な取り組み報告、アンケート報告、外国出身住民100人の証言等
- 配布先：賛助会員、県内の市町村国際交流協会等関係団体、全国の自治体及び県国際交流協会等

V その他

1 関係機関への講師派遣等

関係機関主催事業に対し講師等として、当協会職員を派遣協力した。

月日	主催者	事業名	役職員名
9月11日	福島県高等学校国際理解教育研究協議会	第26回高校生による国際理のための弁論大会	専務理事 斎藤 隆

2 東日本大震災・原発事故被災地視察団への支援

(1) 日米協会教員研修ツアー(福島視察)

- 主 催：日米協会
- 月 日：7月17日(水)～18日(木)(1泊2日)
- 参加者：アメリカ国内の高等学校教員8名、日米協会教育部長・副部長 計10名
- 視察先：福島市立清明小、伊達市内果樹農家、広野町役場、東京電力福島復興本社、ザ・ピープル(いわき市)

3 インターンシップ等の受け入れ協力

(1) 福島大学インターン生

- 期 間：9月10日(火)～11日(水)(2日間)
- インターン生：福島大学3年生1名
- 内 容：当協会事務所内での仕事の体験、報道機関への事業PR他